

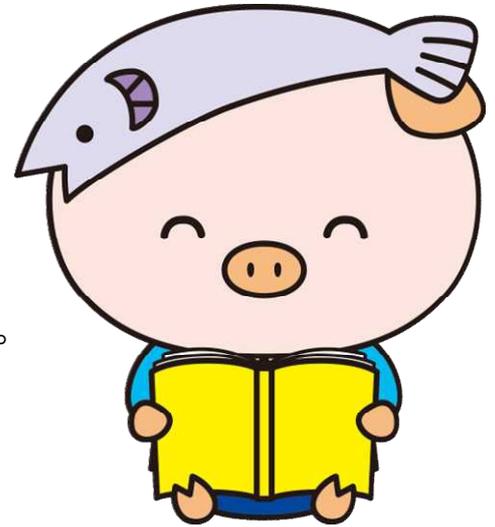
このほんしってる？

5・6年生

ここに紹介した本は、図書館にあります。

読みたい本がみつかったら、厚木シティプラザ3階
こどもの本のフロア、^{えちきた}依知北・^{むつあいきた}睦合北・^{こあゆ}小鮎・^{おぎの}荻野・
^{もり}森の里・^{さと}玉川・^{たまがわ}相川・^{あいかわ}睦合西・^{むつあいにし}南毛利の公民館に来て
ください。移動図書館「わかあゆ号」でも、借りられます。
本は、ひとり10冊、2週間まで借りられます。
読みたい本が貸出中のときは、予約をしてください。

2018年



厚木市マスコットキャラクター

あゆの回

5・6年生 よみもの

『おれたちのトウモロコシ』

矢嶋 加代子/作 岡本 順/絵 文研出版

同じ日に転校してきた^{たつや}竜也と^{まこと}真琴とクラスのボスの^{そんざい}健の3人は、あることから急^{きゅうせつきん}接近し、家が農家の健の家集まるようになった。もうすぐ夏休み。自分たちでトウモロコシを作って売り、三人で旅行をしようと考えた。初めてのトウモロコシ作りは、クラスに^{こうげき}攻撃されたり、大変なことばかり。そしてやっと^{しゅうかく}収穫ができるようになったが、今度は……。



『ぐるぐるの図書館』

工藤 純子/著 廣嶋 玲子/著 濱野 京子/著 菅野 雪虫/
著 まはら 三桃/著 講談社

学校の図書館に、ある日、夕焼けのような^{あかね}茜色の貼り紙が貼られました。「後戻りしたくてしょうがない人は、放課後、図書館に来てください。」^{あともど}真下の^{ました}ぞみは、^{かみ}髪の長い司書の先生に会い、不思議な体験をします。「家に帰りたくない人」「^{ゆめ}夢をかなえたい人」など、5人の五つの物語。

『ひいな』 itou mik / 作 小学館

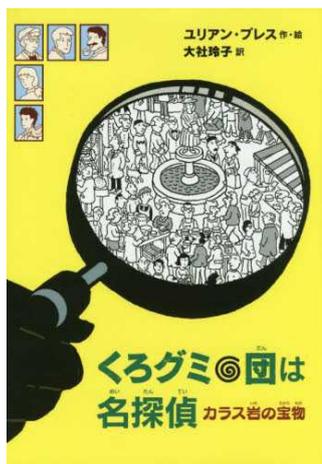
二週間、祖父母の家で暮らすことになった由良。その町はひな祭り
で有名だった。さびれた駅に飾られているおひな様があった。人を
守る役目が果たせないとふさいでいた女雛の濃姫は、由良を守るべき
「女の子」にすると決めた。何をやってもうまくいかないと
思っている由良と、前向きだけど、ちょっとめんどくさがりな濃姫。ふたりの
間にしだいに特別な気持ちが生まれていく。



『くろグミ団は名探偵 カラス岩の宝物』

ユリアン・プレス作・絵 大社 玲子 / 訳 岩波書店

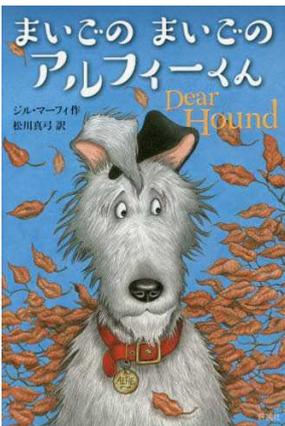
フィリップ、フロー、カーロの3人は、探偵グループくろグミ団
を結成。同級生と出かけた修道院の見学ツアーで事件が起きた。
修道院に7羽いるはずのカラスが6羽しかいない！ 1羽はどこ
に。この本は右のページがなぞを解く手がかりの絵になっている。
絵をよーく見て、あなたもくろグミ団といっしょに、探してみよ
う。ほかにも次々と起こる事件を解決するんだ。



『テオの「ありがとう」ノート』

クロディーヌ・ル・グイック=プリエト / 著 坂田 雪子 / 訳
PHP研究所

きみは、一日に何回「ありがとう」と言うだろう。ぼくは、家族と
はなれて、施設で車いすの生活をしている。何かを手伝ってもら
うたびに「ありがとう」と言っている。ある日、ぼくは「ありがとう」
と言うのをやめることにした。礼儀正しい子はきょうで終わりだ。



『まいごのまいごのアルフィーくん』

ジル・マーフィ / 作 松川 真弓 / 訳 評論社

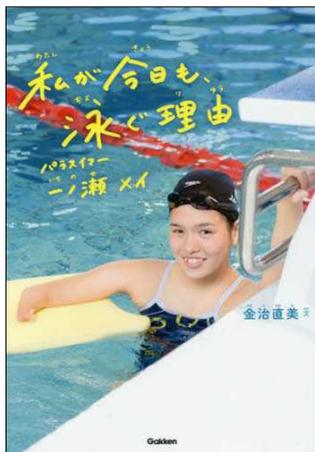
アルフィーはおうちが大好きで、甘えん坊で、いたずらっ子で、怖
がり屋さんの愛すべきワンコです。体は大きいけれど、まだまだ子犬
です。そんなアルフィーが一晩、家の人の都合で犬を預かる施設に泊
まることになりました。ところがアルフィーは、あることをきっかけ
に森の中で迷子になってしまいます。いったい何が起きるのでしょうか。

5・6年生 しらべる・あそび

『見えない大気を見る 身近な天気から、未来の気候まで』

日下 博幸／著 くもん出版

地球のまわりには、空気の層「大気圏」があります。地球が、りんごくらいの大きさだとすると、大気圏は、りんごの皮のようによすいものです。このよすい空気の層の中で、天気がつり変わっています。風や雲や雨などのしくみから、スーパーコンピュータを使った未来予測まで、天気の世界をのぞいてみましょう。



『私が今日も、泳ぐ理由 パラスイマー 一瀬メイ』

金治 直美／文 学研プラス

一瀬メイさんは生まれつき右の手が肘までしかありません。でもメイさんは自転車だって何だって友だちと同じようにできました。一番得意なのは1歳半から始めた水泳でした。ある日、競泳クラスのあるスイミングスクールに入会申込みに行ったところ「障害者クラスにしか入れません」と言われメイさんはショックを受けます。

『ようこそ！花のレストラン 植物たちの声を聞く たえこ先生のわ！観察記』

多田 多恵子／写真・文 少年写真新聞社

「花のレストラン」のごちそうは花粉とみつ、お客さまは虫たちです。いごちのいいレストランには、お客さまがたくさん来ます。手軽な「ファミリーレストラン」もあれば、「こわ〜いレストラン」もあります。どんなおもてなしをしているのでしょうか。



『自然に学ぶ暮らし 1 自然の生き物から学ぶ』

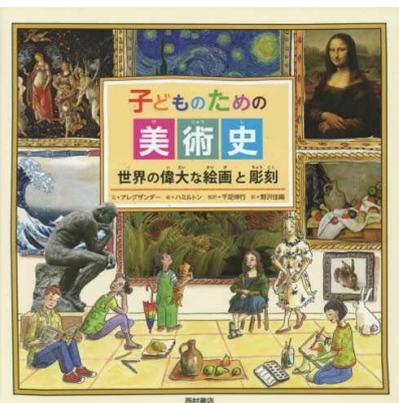
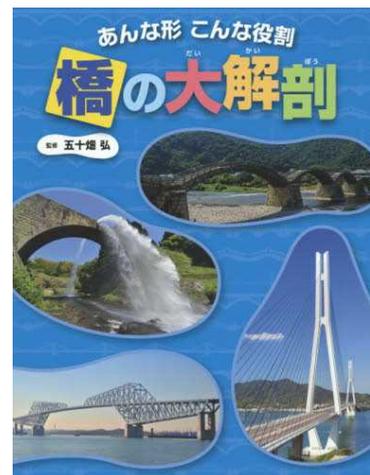
石田 秀輝／監修 さ・え・ら書房

私たちが人間の生活と、自然界がもっているしくみで、大きく違うところがあります。自然の中では、太陽光のエネルギーと物質が循環され、ごみがありません。また、形や体のしくみなど、すぐれたテクノロジーをもつ生き物もいます。身近な生き物に、これからの暮らしを快適に変化させる、たくさんのヒントがかくされています。

『橋の大解剖 あんな形こんな役割』

五十畑 弘/監修 岩崎書店

みんなの家の近くに橋はあるかな。厚木市には、相模大橋をはじめとして、さまざまな橋がある。橋は、川や谷間などの障害をこえて、人や物をつなぐものだ。海の上にかかる、島と島を結ぶ大きな橋もある。橋の形や材料には、どんなものがあるのだろう。重いトラックや鉄道が通る橋をささえるしくみは、どうなっているのかな。



『子どものための美術史 世界の偉大な絵画と彫刻』

アレグザンダー/文 ハミルトン/絵

千足 伸行/監訳 野沢 佳織/訳 西村書店

美術の始まりから現代までを、紹介しています。画家ごとに書かれているので、気になる画家のページから読んでもOK。ミケランジェロのページの「寝ながらかいてみよう」というコーナーでは、ミケランジェロが天井に絵をどんな感じでかいたか、体験できるやり方が書いてあります。やってみよう。

ちゅうおうとしょかん
*中央図書館 3階 こどもの本のフロアのご案内

3階の開いている時間

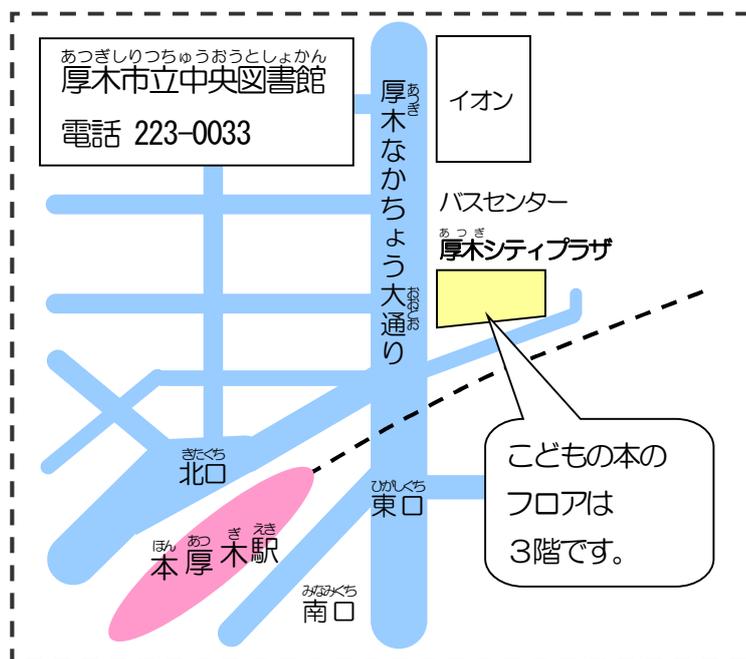
午前9時から午後5時まで

お休みの日

施設保守日

年末年始

本の整理のとき ほか



図書館は、バスセンター南側の厚木シティプラザの中にあります。